

- ✳ 「自尊心の育成」…………… ケント ギルバート
- ✳ 「時代の変革期に道徳教育に求められるもの」… 北川治男
- ✳ 「国家モラロジーを考える(第2回)」…………… 清水武則
- ✳ 「俳句のススメ 感謝から生まれる
「三方よし」の実践と喜び」…………… 吉田悦花
- ✳ 「教科教育の基盤となる道徳教育」…………… 長澤勇哉
- ✳ 「道徳教育の研究の最前線」…………… 江島顕一
- ✳ 鼎談シリーズ③「響育」「あなたの原点は～」
…………… 濱井利一・堀内一史・大久保俊輝
- ✳ 学校のちょっとしたいい話…………… 鍵山智子

自尊心の育成

岡山理科大学 客員教授 ケント ギルバート



ケント・ギルバート氏

ではありません。

自分もいずれ父親になって子どもを作りますが、その子どもを自分と同等の価値を持つ人間として尊敬して接しなければいけません。

親の最大の義務は、子どもに「正しい判断力」と「自尊心」を持つ人間に育成することです。もちろん、危ないことはさせませんが、私はできる限り、命令形の言葉を使わないのです。たまに使った場合は、

私が信仰して必ず「理由」を付け加えて説明します。当然、子ども

いる宗教では、もはその価値観が理解できるといふ信頼と期待を示すすべての人間がしたら、子どもは意外とその期待に応えます。

前世では、神様に創造された霊に創造された霊であるので、霊の場合によっては、見守りながら子どもに失敗をす

に創られた霊であるので、霊において全人類が兄弟だと教えています。私と妻は、最初から子どもたちを大人扱いにしようとして決まっています。そのため、まず幼児言葉を一切使わず、つねに普通の英語で話しかけていました。

その霊が順に地上に降りてきて、肉親に肉体をもらって、人間になるわけです。だから先に地上に降りてきた私の父親は、私を育てる義務が発生しますし、私は自分の父親を尊敬しなければなりません。決して私は父親の持ち物

ほかに妻のこだわりで、家には紙やプラスチックの食器がありません。長男が一歳半くらいのとき、ベビーチェアに座らせて、付属のトレイに牛乳を入れたガラスのコップを置いたのです。そうしたら長男は飲んで、コップを下に落としました。すると妻は長男を叱らないで片付けてくれました。次の日もまた、長男は同じことを繰り返しました。それでも妻は怒らないで、「あらつらつら」と言いながら、さつ

さと片付けたのです。そして三日目のこと、子どもはガラスのコップからこぼさず飲んで、しかも丁寧にトレイに置いてくれました！これが他人から期待されることの効果です。

同等の存在として期待されることで、人間は言われなくても応えようと努力し、「自尊心」が育成されます。